

【小城市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

小城市では、学習指導要領及び中央教育審議会答申等の中にある、「個別最適な学び」と、「協働的な学び」の内容を踏まえて、学校教育に係る基本方針として、「いきいき学ぶ学校教育の推進」、「学校教育環境の整備充実」を掲げている。1人1台端末の整備や高速大容量のネットワーク整備を行う等、学校が教育の専門機関として、機能を十分に発揮できるような取り組みを行っている。児童生徒一人一人が、豊かな人間性やコミュニケーション能力、学力の向上など「生きる力」を醸成し、これからの社会を生き抜くための力を育む環境を目指す。

2. GIGA第1期の総括

(1) 現状

平成23年に「小城市教育情報化推進協議会」を設置し、教育の情報化を推進している。電子黒板や、ICT機器の整備を平成25年度までに小中学校への導入を完了した。令和2年度には、GIGAスクール構想に対応した1人1台端末を導入し、高速大容量の学校ネットワークの整備を行った。また、授業における1人1台端末やデジタル教科書等を含むICT製品の利活用の工夫について研究に努めている状況である。さらに、教職員の機器操作をサポートするICT支援員の役割が重要と考えており、ICT支援員の配置を継続し、教職員の業務負担の軽減につなげている。この他、令和5年度より、1人1台端末の持ち帰りができるように環境整備を行った。これによって、家庭学習での活用の幅が広がるものと期待している。

(2) 課題

ICT機器の整備や環境の整備を進め、児童生徒が1人1台端末を使用して情報収集を行う等、日常的に利活用する場面がある。その一方で、教職員のICTスキルに個人差があり、授業での活用にも差が生じていることが課題に挙げられる。また、1人1台端末の持ち帰りを日常的に行い、デジタル教材を用いた学習をすることで、児童生徒の学習への興味、関心を高めていくことを課題としている。

3. 1人1台端末の利活用方策

小城市では、児童生徒が1人1台端末の利活用を進めていくために、整備・更新を計画的に行い、引き続き環境を維持していく。また、1人1台端末の積極的活用をすることとして、ICTに関するアンケートを教職員に対して実施し、教職員のICTスキルにあった研修等を行うことで教職員の質を向上させ、デジタル教科書等のICT機器を活用した授業の実施を推進していく。また、児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面を増やしていくため、現在授業の中でも活用をしている1人1台端末を活用したホワイトボードアプ

りを今後も利用していくことで、教職員と児童生徒・児童生徒同士がやり取りできる場面に繋げていく。その他、「希望する不登校児童生徒への支援」「希望する児童生徒への端末を活用した教育相談」等様々な支援を必要としている児童生徒への学びの保障については、校内での教職員への研修を行う等、多様な場面でICTを活用できるような環境を整備することを検討していきたい。